

下関市立大学

# 地域共創(産官学)

## 研究報告会(オンライン開催)

地域共創研究とは、本学教員が地域貢献の観点から地域課題を見出し、その課題解決に取り組むことを目的とした研究です。産官学研究とは、地域共創研究の中でも産官学に特化した研究です。この度、2019年度研究の成果報告を下記のとおり開催いたします。コロナ禍ということもあり、Zoomを使用したオンライン研究報告会と致します。市民の皆様及び本学学生のご参加をお待ちしております(事前にZoomアプリのインストール、設定等必要です)。

### 【報告1】 【地域共創研究】 酒造を活用した観光まちづくり

—久留米市城島・東広島市西条—



難波利光 経済学部教授

共同研究者 三科仁伸  
経済学部 准教授

地方経済が、超人口減少や超少子高齢の状況がより深刻化される中で、地元資源を活用したまちづくりや観光に対する地方の期待は高い。それは、地域に存在している既存の社会資本を有効活用することによって、歴史的に親しみのある魅力ある街を再生することが可能であるからである。本報告では、2つの酒蔵のある地域をとりあげ、地域住民と地域外の人々とともに作られる地域づくりについて観光まちづくりの戦略を説明する。

### 【報告2】 【産官学研究】 看護・介護職の離職要因に関する研究

難波利光 経済学部教授

共同研究者 田中裕美子  
経済学部 教授

日本において医療福祉サービス需要と供給のアンバランスが生じている。特に看護・介護職員不足により、地域にあった医療福祉サービスの供給を行うことが困難になってきていることが問題である。看護・介護職員は、個人の能力を活かすことのできる、より良い環境の職場を探している。本報告では、看護・介護職員の離職要因がどこにあるのかについて説明する。

◆日時：10月9日(金) 18:30~20:30 (質疑応答含む)

◆場所：オンライン開催 (Zoomを使用しますので、自宅等から視聴可能です)

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本学内で視聴はできません。

◆参加費：無料 (視聴に伴う通信料は各自負担) ◆申込み：必要 (裏面参照)

◆必要ソフト：Zoomアプリ (無償版で視聴可) ◆定員：50名

◆その他：Zoomのインストール、設定等は事前に各自で行ってください。

■お問合せ 下関市立大学附属地域共創センター

〒751-8510 下関市大学町二丁目1番1号 TEL 083-254-8613 FAX 083-253-1622 E-mail chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp